

(様式)

議 事 録

公開	一部公開	非公開	非公開	部 分 理 由	個人情報にかかる部分
				保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和元年7月17日
部長	課長	課長補佐	係長	係員	記録者所属 健康保健課健康増進係

会議等の名称	令和元年度 第1回東御市健康づくり推進協議会	開催日時	令和元年7月10日 (水) 午前 午後 1時 15分～ 午前 午後 3時 15分
		場 所	東御市総合福祉センター3階301・302研修室
主催者(事務局)	健康保健課	司会者	会長
出席者	中村武人、竹村洋子、阿部貴代枝、小林利佳、小林峯雄、小林ひとみ 小林豊子、松本清美、依田達哉、岡田真平 吉澤健康福祉部長、小松健康保健課長、武井保健係長、花岡健康増進係長 土屋副主幹、笹井主査、小山主査、柳澤主査、堀川主査 教育課宮尾主任、鷹野職員		
欠席者	長谷川浩通、小林正秀、上原恵子、瀬田キミ子、小山哲生		

議 題	(議題)	(配布資料)
	<ul style="list-style-type: none">(1)健康づくり計画の進捗状況について<ul style="list-style-type: none">①平成30年度事業の実施状況②令和元年(平成31年)度事業の概要(2)健康づくり計画(後期計画)、自殺対策推進計画の策定について(3)東御市の健康課題について	資料1別冊「平成30年度東御市保健衛生」、資料2 資料3 資料4、資料5 資料5
決定事項 (要点を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none">平成30年度事業の実施状況を確認した。令和元年(平成31年)度事業の概要を確認した。健康づくり計画(後期計画)、自殺対策推進計画の策定のスケジュールを確認した。	
次回への検討事項	<ul style="list-style-type: none">健康づくり計画(前期計画)の評価について、後期計画(素案)、自殺対策計画(素案)について審議を行う予定。	
次回開催	10月下旬	(場所) 未定

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
4. 議題		
		<p>(1)健康づくり計画の進捗状況について</p> <p>事務局 (1)①②説明</p> <p>会長 健康づくり計画の進捗状況(次第①及び②)について、ご質問等ありますか。</p> <p>委員 保健衛生17ページ、保健指導の30年度の慢性腎臓病予防対象者人数が増えていますが、増えた理由があれば教えてください。</p> <p>事務局 後期高齢者対象者数と受診者数が増えていることが増加の理由であると考えています。</p> <p>副会長 歯周病検診の受診率が低いのですが、対策は何かあるのですか。</p> <p>事務局 対象者を30～70歳の節目年齢としています。申込制にしますと手を挙げた方しか受診できなくなってしまうので受診年齢を決めています。受診率向上のために節目年齢対象者全員に受診票を送付しています。</p> <p>事務局 市報、FMラジオ、特定健診受診者への保健指導を実施しています。また、上田小県歯科医師会の先生方と年1回懇談を実施していますが、「年1回受診しましょう」とお声がけもいただいております。</p> <p>委員 資料5ページ、学校給食の統一献立の中身と結果を教えてください。それから、離乳食の参加者が多くなっていることと、ママパパ学級の参加者に夫の参加者もあればいいと思いました。それから、3年に一度朝食に関するアンケートを実施していますが、正確に近いデータとするには、毎年実施したほうが良いと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>事務局 統一献立については、食に関心をもってもらいたいために行っていますので、その後どうであったかというところまではまとめられていないと思いますが、東御市のもの、旬のものを使って、栄養士がそれぞれ気持ちを揃えて行っているところです。 ママパパ学級は、お父さんにも参加いただいています。 離乳食については、「保健衛生13ページ」に参加状況がありますが、70%台の方に参加いただいております、毎月5か月児と8か月児でしたが、</p>

	7か月児対象で実施しています。
	アンケートについては、「食育計画」は3年に1度の実施ですが、「健康とうみ」では、保健衛生61ページ「朝食を食べる児童の割合」があり、こちらは毎年実施する調査データを使用しています。
	対象学年が違っており、食育計画は小学校5年生と中学2年生、「健康とうみ」の方は小学校6年生と中学校3年生です。今後の後期計画については毎年実施している調査を採用する予定です。
委員	「産後うつ」について、11ページに産後ケアがありますが、助産所に泊まった場合高いので泊まりやすいよう無料になると良いと思います。それから、産後1ヶ月の訪問については短いと思います。先日新潟で市の職員による子どもの事故がありました。その方は4～5ヶ月でした。それから乳幼児健診について、未受診者には電話、訪問とのことですが、電話ではなく顔を見て対応してほしいです。
事務局	産後ケアについては現在助産所とうみ利用の場合、一泊15,000円プラス食費となっております。29、30年度は3分の2の10,000円を市が補助、個人負担5,000円でした。今年度からは日帰りのショートを始め関係で、それぞれのメニューごとに市の補助は定額とさせていただきます。通所半日2,000円、利用料3～4,000円のところ。およそ3分の1が個人負担です。一日の利用の場合は6,000円のところ4,000円の補助です。ショートの場合は15,000円に対して12,000円の補助です。
事務局	「産後うつ予防」について、今年度から産婦健診を東御市でも始めました。産後1ヶ月での産婦健診を医療機関にお願いしています。出産された産婦さん方は、産後1ヶ月で「産後うつ予防」のための質問や聞き取りを医療機関の助産師に対応していただいています。加えて、市では保健師の新生児訪問を行っています。概ね2ヶ月頃に助産師や保健師が訪問しており、そこでも同様によく話を聞いて、「エジンバラ」という質問表を用いてお母さんの不安の状態等を伺って対応しております。産後6ヶ月までは自殺が多いと言われておりますので、心配な方は個別訪問等実施しております。健診未受診者について、乳幼児健診は100%来てほしいのですが、体調が悪いとか、最近多いのは長期に入院されている方が多くいらっしゃいます。地区担当で状況を把握し訪問を行っていますが、訪問しても会えない方もおります。

委員	産後ケアについては、保育園も無料になっていますので、拡大してもらって、その場でお母さんたちが支払らなくてもよいように「無料」をぜひ検討してほしいです。
事務局	国の補助事業を受けており、国の要綱に利用者負担をいただくことが明記されておりますが、所得状況には配慮することとされておりますので、東御市では生活保護世帯と住民税非課税世帯では自己負担免除としております。
副会長	朝食を食べていない園児、小学生、中学生について、朝食を食べてくる子どもの数字が下がっています。親が成長期の子供にきちんと食事をさせる意識が下がっていると思います。家庭できちんと食事をさせることをもっと啓発をしないと数字が下がる一方だと思いますので、基本的な生活の啓発が必要だと考えます。私は今、学校でボランティアをしています。2時間目ぐらいで「お腹空いた」という子もいます。障害児とかではなく家庭的に少し問題のある子がクラスに何人かおり、そういう子は基本的な生活について、親の意識がないように見られます。乳児健診は100%ではないとのことで乳幼児健診は、100%ではないとのことですが、受診していない子がかなりいるのではないかと思います。
	1年生のボランティアに行っておりますが、小さい時から基本的な生活をしていない子が多くなってきています。自分はダイエットで朝食を食べなかったのはお母さん達の問題です。食べさせなくてはいけないという意識がないのだと思います。基本的な生活を含め乳児健診あたりから子供をもっと大事に育てること、自分の物や人形ではない当たり前のことが忘れられているような気がします。食事の大切さについて、学校で試食会を実施しているので、「家でも夕食と朝食はこんなような形で出して下さい」ということを教えていただきたいと思います。
事務局	また後の方でスケジュールのご説明をさせていただきますが「健康とうみ21後期計画」で、現状と後期計画の方針案を皆様方にこの秋にご審議いただきますので、特に朝食を食べるところは教育委員会の方、保育園、また離乳食教室から始まりますが、連携した取り組みをどのようにしていくかというところでもご意見を参考にさせていただきますし、こんな点があるのではないかとこの時にご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員	5ページの悪性新生物による死亡者数について、29年度51名が30年度34名に減った理由を教えてください。また、14ページの思春期保健事業について、北御牧中学校3年生の教育は毎年北御牧中学校と東部中学校で実施できないのでしょうか。とても大切なことなので両方の中学校でやってほしいと思います。
事務局	まず「びあ」学習の方ですが、今、学校の全体のカリキュラムの中で話をさせていただく中で北御牧中学校には了解を得て実施しております。東部中学校には、改めて学校と相談して時間がいただけるかというところから入っていく必要があります。またそれとは別に、自殺予防の観点からSOSの出し方教育を始めます。これについては今年度から学校教育と連携して両方の中学校でやっていく予定です。その中で東部中学校でも「びあ」学習について働きかけができるかどうか検討していきたいと思っています。
事務局	ガンの方ですが、一概にこの5ページの人数が減ってきたから云々といった考察はまだできておりません。
会長	朝食の関係について資料の8ページに「朝食を毎日食べている生徒の割合」に対して「共食を楽しんでいる人の割合」の二つに分かれています。楽しいと思う生徒が増えており、子ども食堂や家族と一緒に食べると楽しいのかもしれませんが、ニュアンスが違うので比べるわけにはいかないのではないかと思います。 また、ガンについては、ピロリ菌というものがあり、治療によって治ることがあるそうで、ピロリ菌検診も有効だと思いました。

(2)健康づくり計画(後期計画)、自殺対策推進計画の策定について

事務局	(2)健康づくり計画(後期計画)、自殺対策推進計画の策定について資料4説明。
-----	--

(3)東御市の健康課題について

オブザーバー	資料4後半「おらほの地区の健康状況について」説明
会長	後期計画、自殺対策計画について、ご意見を含めて皆さん何かありましたらいかがでしょうか。オブザーバーからのご説明は各地区ごとに、例えば祢津地区の状況がわかります。他の地区は参考程度ですが、資料を見ますと全体的な傾向は似ているのだと思いますが皆さんいかがでしょうか。引き続き行っていくのですね。

オブザーバー	はい。市の方ではそういう形で考えています。小学校区単位で行っており「東御市はこうですよ」と言われるよりも「滋野はこうですよ」というところが見えた方が皆さん心に火が付くと言うか、自分ごとになるので、そういう意味でなるべく小学校区単位の分析を続けながら、健康づくりは小学校単位で盛り上げていっていただければ良いと思います。
委員	とても良い話を聞かせていただきました。小学校区単位のより身近なところでというのがとても大事で、私は以前、大町保健福祉事務所におり、そこでは、子供の頃から始める生活習慣病予防として関係市町村の行政が関わっており、小学校ごとの特徴が出てきています。より一層地域のこととして自分のこととして考えられるのかなと思います。もし可能であれば、小学校での様子なんかも入れていきながら話し合いが進んで行かれば良いと感じました。
委員	私も5月の研修会に出させていただきましたが、保健補導員の方を中心に連絡してもらっているようですが、もっと広く色々な人に呼びかけても良いのではと思います。
会長	祢津の場合は地域づくりの会と合同で行っており、チラシを全戸配布して結構大勢集まりました。ただし、高齢者の中には、夜は面倒なため昼間にしてほしいなどの意見もありました。また、出席した方々の意見などをまとめたものを印刷して各地区ごとに回覧ではなく月2回の配布物の中に入れてはどうかという意見もありました。
委員	先ほどから小学校の朝食について話が出ていましたが、私も5つの小学校を回ってきましたが、特に一つの小学校がそういう傾向が多くて、家庭の問題がとても大きくて、ネグレクトの家が不登校にも重なっており、難しい問題ではありますが、幼児期のうちにちょっと感じた家庭があったら、児童相談所につなげたり、行政も入っていただいたりして、皆さんのご意見をいただきながら改善していけたらと思います。
	また「糖」についてですが、何に気を付けたらよいのかについて、例えばちょっとしたメニューを提案していただいて配布していただければ意識も高まるのではないかと思いますのでよろしくお願いします。
会長	東部中学校の試食会に顔を出させていただいているのですが、学校の近くの方で、30年近く野菜を作っていてできるだけ安心安全な野菜を食べていただきたいということで一生懸命やっつけてくださっている方がおります。

	子供達にも何かの機会に健康のためにやっていますと紹介してもらいたいと思います。
委員	高齢者クラブですが、今まで統計を取ったりとか目に見えるような形で取り上げてこなかったのが、皆さん色々な活動をしているのに高齢者クラブはこれからどうやって活動していったら良いのかと感じました。
事務局	離乳食の取り組みですが、現場でお母さん達と接している中で、統計は取っていないので感覚的にですが、お母さん達自身が食に関心がないお母さんと、調理能力が落ちてきているのではと感じられます。子供のことをきっかけに調理に取りかかってくれる方もいれば、外食とか買って来て食べるとか、食事内容としては食べているのですが、朝はご飯やパンだけとか、若い世代の方だとご飯を食べない男性が多い状況もあり、離乳食の時期にももちろんアプローチはしていくのですが、どこをきっかけにアプローチしていけば良いのか、家庭の中への働きかけは難しいところがあります。
委員	みんなで関わっていかないと本当に難しい問題だと思います。すごく大事な部分なんですけれども、本当に関わりが難しいと思います。
会長	虐待問題について、悲惨な事件がたくさん起きておりますが、実際には氷山の一角です。13万件の児相への通告があり、そのうち80人前後が悲惨な状況、死亡までにはいかなくてもそれに近い状況が起きています。また今一番困るのは、固定電話で繋がるのが2割程度であるため、どうやって接触して良いのかということです。民生児童委員の色々な研修会の中では、保健師と一緒に家庭訪問をする地域があります。区の役員と一緒に訪問している地域もあり、地域によって様々な形での地域連携があります。その中で共通して言われていることは、問題が生じない早い時期に顔見知りになることが大事だということです。母子手帳を扱う時などに顔見知りになって、何かあったら「私は誰々です」など気心が合う形を早く作ることが大事だということです。ただ最近、オレオレ詐欺があるので複数で訪問してくださいと言われております。また訪問する際には、いざという時の連絡先や相談内容について具体的なものを作って、最初に渡しておくなどの体制を作らないと手遅れになるかもしれません。児相ではたくさんの方に対応するので精一杯という状況もあります。皆様方から現場の様子をお話しいただいて、少しでも良い方向に取り組めるようになればありがたいと思っております。これ

		から何回か会議がありますので、その時に色々ご意見をいただい
		て後期の方につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願
		いいたします。以上をもちまして議長をおろさせていただきます。
	事務局	ありがとうございました。自らの健康は自らということで食べること
		が基本になります。「食育」については「健康とうみ21」に内包し
		てまいりますので、10月には市の健康状況の4年間の現状をお
		示しさせていただきたいと思えます。また、自殺対策推進計画
		も市の現状についてお話しさせていただきたいと思えますので、
		皆様のご審議をよろしくお願いたします。
5. その他		特になし
	事務局	今後のスケジュールについては、10月下旬ごろの予定でおりまして、
		今年度は4回予定しております。
6. 閉会	副会長	閉会とします。